



竹島直樹
(柊の会)

旧洞内地区プール解体後の 跡地の利活用は

市として利用するか調査中

問 旧洞内地区農村公園のプール解体後の跡地の利活用はどのように考えているか。

答 地域での利活用の意向がなかったため、現在、市として利用する意向があるか庁内で調査をしている状況です。利用予定がない場合は、民間事業者などからアイデアなどを募集するサウンディング型市場調査の対象物件として、売却や貸付けに向けた取組を進める予定です。

問 旧十和田市立新渡戸記念館譲与後の館内資料の所有権確認作業の進捗状況は。

答 調停条項に基づき、市と双方代理人弁護士立会いの下、令和6年2月に市側から作業方針の申入れを行いました。新渡戸氏からは市が求める資料の現物確認について言及がなく、所有権確定には至っていません。引き続き資料の現物確認を求めるとともに、履行されない場合は、調停条項に定める損害賠償請求などの法的な措置を検討するなど、必要な対応を行います。

問 (仮称)みちのく風力発電事業は白紙撤回を求めたのに対し、(仮称)惣辺奥瀬風力発電事業に白紙撤回を求めないのはなぜか。

答 (仮称)みちのく風力発電事業は、八甲田周辺の大規模な森林伐採などが予定されていたため、周辺自治体の意向も踏まえ、反対の立場を表明しました。(仮称)惣辺奥瀬風力発電事業は、市営放牧場と保安林に計画されており、市営放牧場は牛の放牧に使用しているため、ふさわしくないと考えます。保安林は、県ゾーニング案では原則的に事業計画が認められない保全地域となるため、自然環境や景観等への影響を懸念する声大きい中、実施に係る住民の合意形成は現時点でハードルが高いと考えています。



氣田量子
(自民公明クラブ)

女性防災リーダーの必要性を 啓発してほしい

女性防災リーダーが増える 取組を進める

問 災害時に女性ならではの視点を取り入れた避難所運営をするため、女性防災リーダーの育成や必要性の啓発を進める考えはあるか。

答 今後地域の実情を踏まえて行う講習会等の中で、男女のニーズの違い、女性の視点を取り入れた防災対策をテーマにするなど、女性防災リーダーが増えるような取組を進めていきます。

問 トイレカーを整備し、災害時に市内だけでなく近隣市町村へ貸し出す体制を整えることで、広域的な支援が可能となり地域全体の防災力が向上すると考えるが、市の考えは。

答 トイレカー導入は衛生的で安全なトイレ環境の確保に有効な手段の一つと考えますが、費用対効果に課題があることから、災害時応援協定に基づき、トイレカーや仮設トイレのリースを検討しています。

問 女性職員を防災担当部署に配置しては。

答 防災行政の特殊性を踏まえながら、市全体における適材適所の人員配置を検討します。

問 ペット同伴の避難訓練を実施する考えは。

答 課題等を整理し、可能な限り来年度の訓練で実施したいと考えています。

問 高齢者のヒアリングフレイル（聞き取る機能の衰え）対策と今後の取組は。

答 広報やホームページを活用し、基礎知識や聞こえづらさに気づくためのセルフチェック等の普及啓発をするとともに、リーフレットの設置場所を増やし、集いの場などで講話やセルフチェックの実施に向けて取り組みます。

問 自治体に設置した自動販売機の売上げ等を活用し、無償で防犯カメラを設置する「みんなで防犯プロジェクト」を活用する考えは。

答 増設時の選択肢の1つとして検討します。